

# 平成24年度 在宅医療連携拠点事業 成果報告会 資料

平成25年3月8日  
一般社団法人 横須賀市医師会  
在宅医療連携拠点事業「かもめ広場」





# 横須賀市医師会の概要

- ・ 会員数 (445)
- ・ 診療所数 (238)
- ・ 病院数 (12)
- ・ 在宅診療を実施している診療所 (78)
- ・ 在宅療養支援診療所届出診療所 (36)

## 横須賀市医師会の在宅医療推進の取組み

10～12年 国・県地域連携推進モデル事業

『高度医療機器の共同利用システム』 『24時間在宅医療連携システム』

10～15年 「三浦半島在宅医療連絡会議」 在宅医療検討会/勉強会

17年 『病診連携紹介・逆紹介システム&マップ』

18～20年 国・県地域連携推進モデル事業

『地域連携クリティカルパス』 『地域連携外来管理システム』

20～22年 横須賀市地域医療連携助成事業

『在宅医療ネットワークミーティング』 『地域医療連携マップ』

24年度 在宅医療連携拠点事業「かもめ広場」開設



# 横須賀市医師会在宅医療連携拠点 「かもめ広場」の特徴

## 1 行政と太いパイプでの連携

- ・横須賀市健康部地域医療推進課を窓口とする連携

## 2 在宅医療連携拠点「チーム衣笠」<sup>※</sup>との連携

- ・設置主体の特徴を生かした活動と役割分担

## 3 三者の連携の実際

- ・月1回のミーティング
- ・横須賀市が開催する在宅療養連携会議に参加
- ・三者が協働して事業の計画から実施までを行っている

(※ 社会福祉法人日本医療伝道会)



# 1) 多職種連携の課題に対する解決策の抽出

多職種合同研修会の開催（500名以上の参加）

第1回「これからどうなる?! 在宅療養」

第2回「退院時の在宅医療連携」

第3回「横須賀市における在宅療養連携の将来」

第4回「市民のための在宅医療・介護の見本市」



在宅医療ネットワーク  
ミーティングの開催

「在宅(看取り)医療における  
多職種連携推進を考える」



包括的ケア会議への参加

## 2) 在宅医療従事者の負担軽減の支援

医師のための在宅医療  
セミナーを開催

辻 哲夫 先生による  
『かかりつけ医と  
在宅医療の推進』

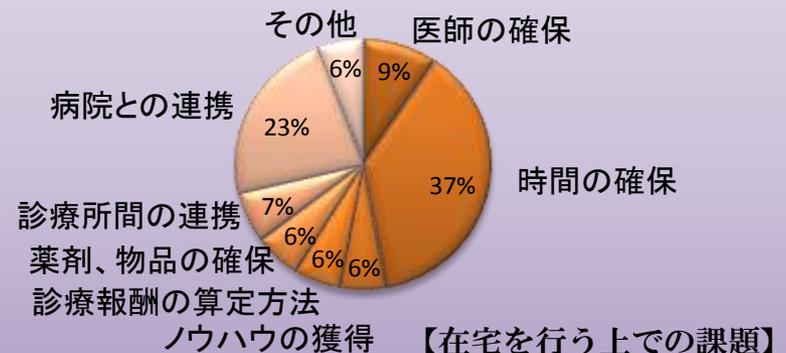


強化型連携支援診療  
所の届け出状況調査

地域医療連携のための  
マップ作成 (資源の把握)

在宅医療地域グループ  
ミーティングの支援

医師に対するアンケート  
調査の実施 (2回)



# 「みとり連携に関するネットワークづくり」アンケート結果から

## ☆ 看取りに至る対応がしにくい診療経緯は？

### ● 診療所の回答



- 1位 : 他の診療所から転院してきて、在宅で看取った患者(C)
- 2位 : 病院から退院後(または紹介されて)在宅で看取った患者(D)
- 3位 : 自院の在宅診療中、病状悪化、入院先で亡くなった患者(B)
- 4位 : 自院の外来診療から在宅診療に移行して看取った患者(A)

### ● 病院の回答



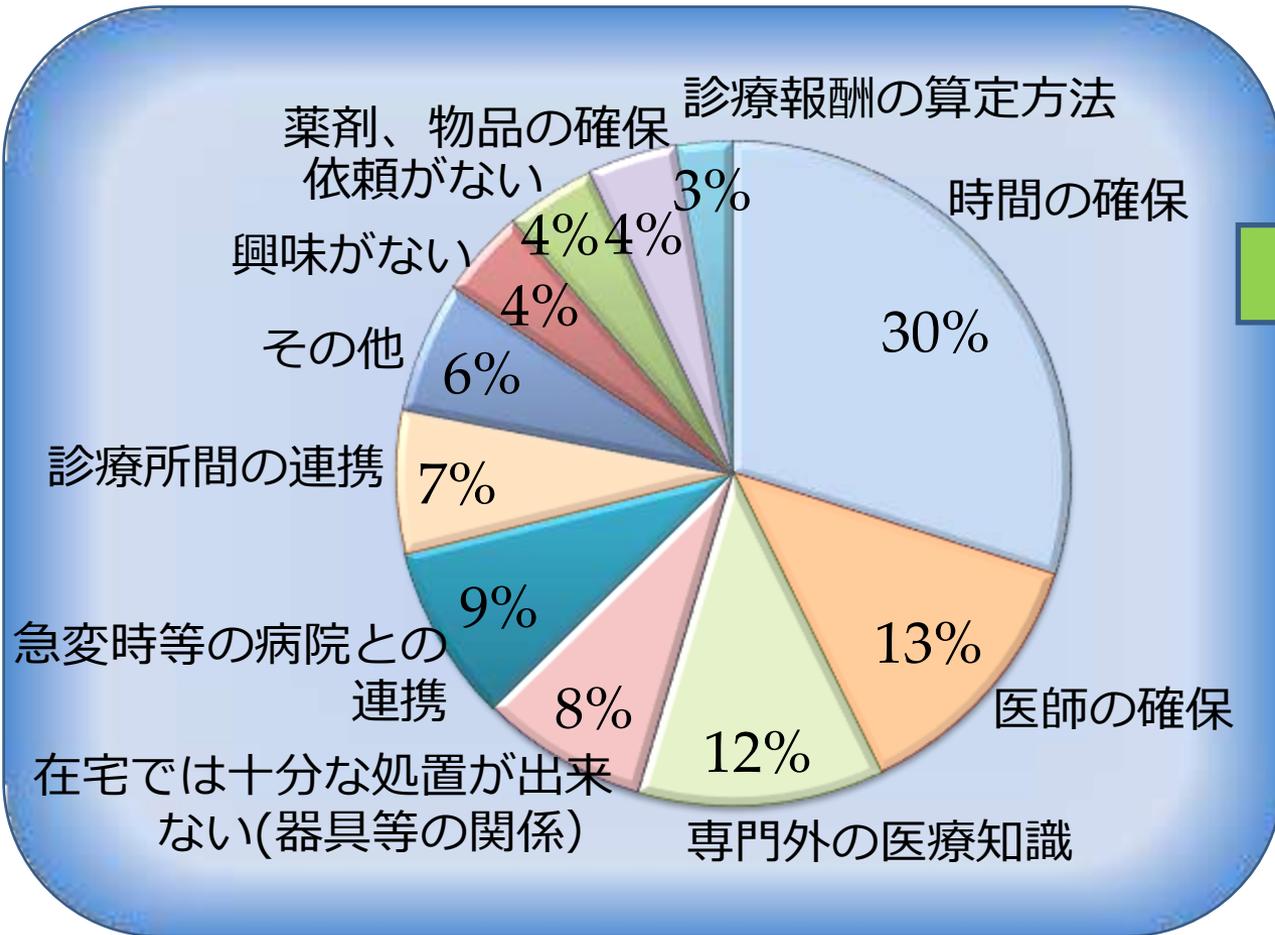
- 1位 : 診療所から入退院後、他の施設に転出した患者(E)
- 2位 : 診療所から入退院後、最後は病院でみとった患者(D)
- 2位 : 診療所または自院外来から入退院後、最後は診療所での在宅医療に移行した患者(C)
- 3位 : 外来診療から、入院せず在宅医療に移行した患者(A)
- 4位 : 外来診療から、自院に入院したのち、みとった患者(B)

今後の取り組み

在宅診療医の病院登録制度の提案

## 医師に対するアンケート調査の実施結果から

### ☆ 在宅医療を行わない又は今後取り組みたいが、取り組めない理由は？



今後の取り組み

- 在宅医療地域グループミーティング支援の継続
- 医師のための在宅に関する勉強会開催
- 在宅医同行システムの実施
- 副主治医などの連携チームの構築
- 薬局情報の集約



### 3) 効率的な医療提供のための多職種連携

関係団体への説明と協力依頼や意見交換会の開催





## 4) 在宅医療に関する地域住民への普及啓発

市民公開講座を開催  
「在宅療養シンポジウム」

中村 仁一 先生による  
「自然死のすすめ」  
(参加者650名)



民生委員・児童委員協議  
会において事業説明

(市内15か所 参加者560名)

市民のための  
街角出前在宅医療講座  
開催 (6回 参加者235名)

広報誌の発行  
「かもめ広場だより」

(2回 各2,000部)



## 5) 在宅医療に従事する人材育成

### ケアマネジャーのための在宅医療セミナーの実施

- 第1回 これからの医療と介護の連携について (参加者 延べ544名)
- 第2回 高齢者と薬剤管理
- 第3回 退院前カンファレンスのための基礎知識
- 第4回 在宅歯科診療と口腔ケア
- 第5回 がんの種類と進行
- 第6回 高齢者に多い疾患と日常生活・ケアの留意点

### リーダー研修会等への参加

- ・都道府県リーダー研修会
- ・平塚市多職種連携フォーラムパネリスト参加
- ・地域リーダー研修会への参加
- ・南関東ブロック発表会への参加

神奈川県地域包括  
推進セミナーに  
講師の派遣



# 6) iPadによる在宅医紹介支援システム

うちのおばあさんを診てくれる先生はいませんか？



来週退院する患者さんの在宅を診てくれる先生は

iPadで検索しましょう。



処置や地域の絞り込み検索で、最適な在宅療養支援診療所を検索することができるサービスです。



もう安心ですよ。



# 結 果

- 市民の在宅医療に関する関心は高い
- 在宅医療を提供する医師の確保が難しい
- 診療所が在宅医療にかかわるためには、医師の負担軽減の仕組みが必要である
- 在宅療養にかかわる多職種連携が更に重要になる

## 今後の課題

- 多職種との効率よい連携のためのシステムづくり
- 医師の負担軽減を図るため、グループ化と副主治医の確保や病診連携の強化（バックベッドの確保）
- 多職種連携強化のための意識と技術を高める研修
- 市民の在宅医療に関する意識啓発
- ITを活用した情報共有のシステムづくり